

泰らぎ

Vol.48
2018年
春号



作業療法活動にて



温故会

温故会
直方中村病院
福岡県認知症医療センター
<http://www.onkokai.jp/nakamura/>
編集・発行 直方中村病院広報委員会



- P1 表紙・目次
- P2 【九州精神神経学会 & 九州精神医療学会】
【接遇研修】
- P3 【活動のご紹介】
 - ・家族会 & 介護用具見学会
 - ・初詣(2病棟 & 3病棟)
 - ・冬野菜収穫 & 試食会
- P4 福岡県認知症医療センター記念式典講演

第70回九州精神神経学会・第63回九州精神医療学会

H30年1月25日、26日に、宮崎県宮崎市のJA AZM(アズム)ホールで、第70回九州精神神経学会・第63回九州精神医療学会が行われ、発表の為、外来高木師長、北原薬局長、1病棟看護師方志、2病棟看護師清水の4名が参加致しました。

ほほど緊張しています。▶



25日は、1病棟(急性期治療病棟)スタッフが取り組んだ「急性期病棟における、いびき軽減への取り組み」について発表致しました。

良質な睡眠は急性期治療として重要視されるが、いびきは他患とのトラブルや同室者の眠剤追加の理由にもなる等治療の妨げとなると考え、様々な方法で対応を試みたことを報告いたしました。

26日は、北原薬局長が「当院入院患者における転棟・転落と薬剤の関連調査」ポスターセッションを行いました。

午後3時より、2病棟清水看護師が「退院するなら家～閉ざされた世界から一歩踏み出す勇気～」というテーマで発表を行いました。

今回、20年以上の長期入院で、地域生活に対する不安を強く抱える事で、退院を拒否してきたA氏に対して、本人の不安を共有し、軽減するための関わりを行い、退院につなげる事ができた事例を報告しました。

職員の様々なご協力や、色々なアドバイスをいただいたおかげで、無事に発表をする事ができました。



▲ 終わってホッとした瞬間です。

接遇研修



当院会議室にて、**接遇研修**が行われました。

担当は、作業療法士の中禮副主任でした。

「接遇」とは、？

おもてなしの心を持って、相手に接するという意味。

より良いサービスを提供するためのスキルであり、円滑なコミュニケーションや信頼関係を築くためには不可欠な要素ということでした。

毎年行われている、患者満足度調査のアンケートの結果が発表されました。



結果は、“**良い**”または“**普通**”が多かったようですが、スタッフの対応や診察の待ち時間の問題など、今後の課題も見つかりました。

課題の中から、**電話対応**の説明がありました。

電話の会話では、聞くことに集中するため、実際に会話をしている時以上にお互いの感情や態度が伝わるという事でした。

ころころを込めた対応が大切だと思いました。

スタッフの接遇が一人悪いだけでも、病院全体の評価につながることもあるので、ころころを込めた対応を心がけていきたいと改めて思いました。

活動のご紹介

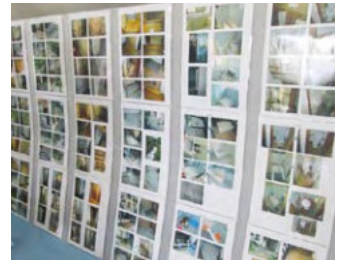
家族会と介護用具見学会



今回のテーマは「介護保険について」
 テーマに関連していつもお世話になっている 太陽セ
 ランド様 にご協力して頂き介護用品を見て触っていた
 だく見学会を開きました。

家庭用電動ベッドなどの大きなものから杖や靴などの
 小さなものまで用意して頂きました。さらに、住宅改修例
 の写真展示も行いました。見学に来られた患者様とその
 ご家族様は、用具の使い方や特徴、各々の家庭に必要と
 思われるような改修方法等に関する質問を積極的にさ
 れていました。

職員も家族会終了後に興味津々で質問したり実際に
 手に取ってみたいりととても良い機会になりました。

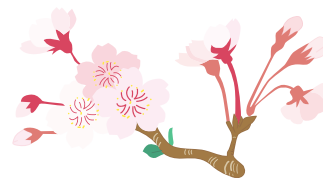


▲ 家庭用ベッドの組み立て

▲ シルバーカーの説明

▲ 住宅改修の例一覧

初詣 (精神療養病棟&認知症治療病棟)



平成 30 年最初の行事はやはり初詣。ということで、
 各病棟で行われた初詣の内容をお伝えいたします。

2 病棟 (精神科療養病棟) では多賀神社に参拝に。

帰院後は茶話会を開きました!!今回は甘酒とカステラで参加者の方はとても美味しそ
 うな顔をして味わっておられ、見ているスタッフも思わず笑みがこぼれてしまいました。

一方、3 病棟 (認知症病棟) は、殆どが年末年始の外出外泊がなく、神社への参拝にも
 行けない方々が多い病棟です。入院患者様にも初詣の参拝気分だけでも味わって頂け
 るにはどうしたら良いか? スタッフ一同で考えた末、**病棟で神社境内を作りお賽銭箱を
 備え付け、皆さんにお金を持たせてお参りし、おみくじを引いて頂きました。**

賽銭箱に手作りのお金を投げ入れ、鈴を鳴らし、患者様も真剣に拝まれていました。

スタッフも患者様の健康祈願。終了後はみなさんで茶話会。

今日のオヤツはプリンにカステラ。

今年も変わりなく患者様、スタッフ一同、頑張つて参りますので
 どうぞよろしくお願いいたします。



冬野菜の収穫&試食会 (精神科デイケア)

直方中村病院デイケア・チューリップの会での調理活動は、メンバー全員が心待ちにし
 ていた…

冬野菜である**ダイコン**とカブの収穫、そしてとろとろの**カブのシチュー**と、シャキシャ
 キの**ダイコンサラダ**の調理と試食を行いました。事前のミーティングで役割分担を話し合っ
 て決め、その役割に沿って、調理活動に参加されています。回を重ねるごとにチームワーク
 が良くなり、準備から片付けまで…

助け合い、全員ができることをしながら、首尾よくできるようになっていっています。こと
 に、今回は、参加者様が多く、自分たちで種をまいて育てた野菜の、とりわけ味のよいことに
 驚きながら…

ほっこりとした笑みを浮かべ、互いに収穫のよろこびとやりがいをかみしめていました。



福岡県認知症医療センター記念式典講演

平成29年度

福岡県認知症医療センター 直方中村病院 飯塚記念病院 3周年開設記念式典及び記念講演会(第2回専門職向け研修会)

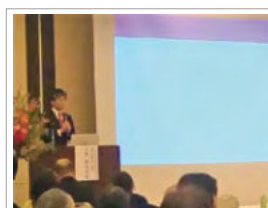
平成30年2月17日(土)13時30分より、のがみプレジデントホテル4階大和の間にて平成29年度福岡県認知症医療センター 直方中村病院 飯塚記念病院 3周年開設記念式典及び記念講演会(第2回専門職向け研修会)を開催しました。

ー プログラム ー

3周年記念式典(13:30~14:00)

○司会:医療法人社団 温故会 直方中村病院
精神保健福祉士 立部恭幸 氏

- 1.開会の辞
- 2.飯塚記念病院 代表挨拶
飯塚記念病院 院長 豊永 武一郎 先生
- 3.直方中村病院 代表挨拶
直方中村病院 院長 吉村 恵 先生
- 4.来賓挨拶
嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所 保健監挨拶
保健監 橋本弥生 様
飯塚医師会 挨拶
飯塚医師会会長 松浦尚志 先生
直方医師会 挨拶
直方鞍手医師会会長 山近 仁 先生
- 5.閉会の辞



記念講演会(14:10~15:40)

演題「認知症(疾患)医療センターが目指すもの-改正道路交通法など最近の話題-」

- 司会:医療法人社団 豊永会 飯塚記念病院 精神保健福祉士 江頭 関巳 氏
○講師:九州大学大学院医学研究院 精神病態医学 講師 小原 知之先生
○座長:医療法人社団 豊永会 飯塚記念病院 院長 豊永 武一郎 先生

当日の参加者は293名でした。記念講演会では、「認知症(疾患)医療センターが目指すもの~改正道路交通法など最近の話題~」を演題に九州大学大学院医学研究院、講師 小原知之先生に講演をしていただきました。限られた時間の中で、認知症に関して貴重なお話をしていただき大変、勉強になりました。アンケート結果でも「記念講演の時間があつという間であった。」「講演会を通じて色々支援の方向性が見えてきた」など9割以上の方々から記念講演に対して好評なご意見をいただきました。特に改正道路交通法のお話は近々のテーマであり様々な課題がある中当認知症(疾患)医療センターでも、取り組みをさせていただいております。当エリアの地域特性上、高齢者ドライバーが自主返納をためらうケー

スが見られます。このような課題をセンターとして国に報告していく責務があると強く考えさせられました。小原先生にはお忙しい中、講演をして頂き大変、感謝致しております。最後になりますが来賓の挨拶をしていただきました嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所さま、直方鞍手医師会さま、飯塚医師会さま、またお忙しい中、御参加頂きました沢山の皆様方に大変、感謝、謝いたします。又、合同開催いたしました飯塚記念病院さまにおかれましても、お礼を申し上げます。今後とも両認知症(疾患)センターがさらに発展していきますよう連携に努めてまいります。今後ともなにとぞ宜しくお願い致します。

福岡県認知症医療センター 直方中村病院
地域医療連携室一同